

令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金事業

事業名	地域商社を軸とした地域産業活性化事業（令和6～8年度）	交付対象 事業費	13,370 千円	交付金額	6,685 千円				
担当課 担当班	みらい創生課 地域力推進班								
事業概要	玖珠町の地域経済の持続的発展を目指す「地域商社」を設立し、ICT技術を含むデジタル技術を駆使した流通・販売戦略の構築、地域連携による特産品開発などを一体的に推進することで、地域経済活性化のハブとして機能し、かつ自走可能な組織の設立及び事業の推進を図る。								
事業内容	【令和6年度(1年目)】 ①プロポーザルによりノウハウを持った民間事業所に地域商社設立業務を委託。(受注者:株式会社ビックゲート/契約日:令和6年8月19日/履行期間:令和6年8月20日～令和9年3月31日) ②町内のサテライトオフィスに玖珠事業所を設置し、フルタイムスタッフ2名・ショートタイムスタッフ1名・本社支援チームのサポートを受け、立ち上げ業務を行った。(フルタイムスタッフ2名のうち1名は他自治体で立ち上げ業務の実績のある本社スタッフ/他2名は地元人材雇用) ③玖珠事業所の立ち上げ業務及び町からの引き継ぎ業務もスムーズに進行し、令和6年10月から地域商社業務が本格始動。また、令和7年1月にフルタイムスタッフ1名を雇用し、地域商社での雇用が3名となった。 ④地域産品をPRする機会拡大のために、サイト登録数を拡充した。(5サイトから11サイトへ拡充) ⑤特産品取扱事業に対する説明会を開催するなど町内事業者とコミュニケーションを密に行った。その結果、地域商社からの提案や意見交換のなかから100点を超える新規商品をリリースすることができた。 ⑥町内事業者の製造能力を生かしたOEM商品「ラベルレス天然水シリカちゃん」「ラベルレス炭酸水シリカさん」を令和6年12月下旬から販売を開始した。 ※販売実績は令和7年3月末時点で3,100ケースを超え、多くの支持を得た。(メディアでも紹介され、多くの高評価レビューを獲得) ※OEM⇒委託側(地域商社)が製品の企画や設計を行い、受託側(町内事業者)が製造を担当する仕組みで、自社で生産設備や人員を持たずにオリジナル商品を製造できる点がメリットであり、自動車産業等で広く行われている製造方法。 ⑦フルフィルメントサービス導入の検討を行い、商品によっては導入メリットが多く、令和7年度早期の実装を計画している。 ※フルフィルメントサービスとは…ECサイト(ネット通販)などで顧客が商品を注文してから手元に届くまでの、受注、ピッキング、梱包、発送、代金回収、返品対応といった一連の物流プロセスを代行するサービスで、業務効率化や配送スピードの向上が図られる。 ⑧情報発信事業として、取材・撮影・編集を行いコンテンツ制作し、Webページを作成、地域産品の販路を開拓し、各メディアへの広告・発信も実施した。 ⑨玖珠町の魅力発信・認知度向上事業(シティプロモーション事業)として、令和6年12月中旬に東京都内にて大手銀行本社において、PRイベントを開催した。玖珠町の特産品の試食・販売や寝具の体験イベント等を実施し、多くの方に情報発信及び魅力発信ができた。 ⑩中核人材の育成について、玖珠事業所責任者のあたる中核人材及び中核人材を支える人材を育成するために社内育成チームを作り、組織的な人材育成に注力した。								
KPI	①地域における農林水産出荷額(億円)	指標(単位)	現時点	2024年度 増加分	2025年度 増加分	2026年度 増加分	2027年度 増加分	2028年度 増加分	計
		計画	44	0.5	0.5	1			2
	②本事業による地域産品の売上高(千円)	計画	0	8,000	33,000	45,000			86,000
		実績	-	65,670					65,670
	③地域商社の雇用者数(人)	計画	0	2	0	5			7
		実績	-	3					3
	④情報コンテンツの利用数 閲覧数(人)	計画	0	53,000	7,000	1,000			61,000
		実績	-	47,990					47,990
2024年度 (R6年度) KPIの達成・ 未達成に関 する理由及 び事業の見 直し等	① 本指標は地域経済分析システム(産業構造マップ→農業→農業産出額)を活用しており、数値の更新時に評価を行う。 ② 情報コンテンツの発信数・発信量を増加させることで地域産品のプロモーション・販売増に寄与し、計画を上回る実績を達成できた。 ③ 地域商社設立事業を担う地元人材をフルタイム2名、ショートタイム1名を雇用でき、育成を進めているところである。 ④ 販売ポータルサイトの拡充やコンテンツの改善等により閲覧者(利用者)を大幅に増加しているものの、計画数値におよばなかったため、今後もタイムリーな掲載内容や更新頻度の増加させるなど、リピーターの獲得もあわせて行う。								